



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）住本 憲隆

問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）早川 崇 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第3四半期	358,399	10.2	48,011	50.6	53,621	57.9	39,904	57.3
2023年3月期第3四半期	325,313	21.3	31,885	28.5	33,957	28.7	25,368	38.2

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 52,882百万円（41.6％） 2023年3月期第3四半期 37,335百万円（63.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	390.73	—
2023年3月期第3四半期	248.40	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第3四半期	547,267	445,273	79.0
2023年3月期	497,083	404,750	78.9

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 432,558百万円 2023年3月期 392,177百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	466,000	6.9	52,000	28.9	57,000	30.4	43,000	29.8	421.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	110,881,044株	2023年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	8,754,123株	2023年3月期	8,753,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	102,127,061株	2023年3月期3Q	102,127,576株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組みとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は358,399百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は48,011百万円（前年同四半期比50.6%増）、経常利益は53,621百万円（前年同四半期比57.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39,904百万円（前年同四半期比57.3%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の為替換算レートは、141.83円/米ドル（前第3四半期連結累計期間は、132.71円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、コンビニエンスストアの来店客数や業務用・外食用食材の需要回復から販売が伸長し、前浜事業が好調に推移したことやふるさと納税返礼品の納入があったこと等から増収となりました。その結果、売上高は22,975百万円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益は、コンビニエンスストアの来店客数増加を受けた中食食材等の増収や原材料価格が下落した商材によるコストダウンの効果により232百万円（前年同四半期比55.3%増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では第1四半期連結会計期間に発生した一部得意先の在庫調整による影響はあったものの、7月以降の受注数量は、主力商品の「Instant Lunch」シリーズ、新商品を発売した「Bowl」シリーズを中心に前期を上回って推移したこと、メキシコでは主力商品のカップ麺、袋麺ともに好調に推移したこと、及び2022年10月に米国、メキシコで実施した価格改定による販売単価の上昇により増収となりました。その結果、売上高は153,936百万円（前年同四半期比19.4%増）、セグメント利益は、人件費の増加はあったものの、売上高の増加等によりカバーし、31,391百万円（前年同四半期比74.3%増）となりました。

国内即席麺事業は、6月に実施した価格改定や猛暑等の影響により厳しい環境ではありましたが、需要は回復しつつあります。カップ麺では「麺づくり」シリーズや「焼そば」シリーズ等が苦戦いたしました。主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」が堅調に推移し、「MARUCHAN QTTA」シリーズや「麺之助」シリーズ、「ごつ盛り」シリーズ等が牽引し増収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズが堅調に推移いたしましたが、「マルちゃんZUBAAN!」シリーズが目標に届かず減収となりました。その結果、売上高は76,270百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はあったものの、販売促進費や広告宣伝費等の減少により7,945百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

低温食品事業は、主力商品の積極的な拡売と新商品の発売により好調に推移いたしました。生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズの拡売と「北海道小麦の玉うどん3食入」シリーズのリニューアル効果に加え、新商品の「札幌の味2人前」シリーズが売上の増加に寄与いたしました。冷凍食品では産業給食、行楽関係の需要が回復し、業務用商品が伸長いたしました。その結果、売上高は43,136百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は、原材料費や製造経費の増加はあったものの、価格改定効果と売上の拡大により5,599百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

加工食品事業は、魚肉ハム・ソーセージ商品等が順調に、米飯商品等が堅調に推移いたしましたが、フリーズドライ商品等が苦戦いたしました。米飯商品では価格改定や在宅療養者向け需要が一段落した影響もありましたが、全体的には大きな落ち込みはなく、堅調に推移いたしました。フリーズドライ商品では価格改定や猛暑等の影響により販売が落ち込み減収となりましたが、秋冬の需要期に入り回復傾向となっております。その結果、売上高は14,889百万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント利益は、販売促進費や人件費等の増加はあったものの、動力費等の減少により577百万円（前年同四半期比39.3%増）となりました。

冷蔵事業は、物価上昇や円安の影響等により、原材料を中心とした輸入品は低調な荷動きとなりましたが、安定した保管在庫の確保と国内における製造品の取扱いが堅調だったことで、関連する配送や付帯作業等が増加したことにより増収となりました。その結果、売上高は18,354百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益は、人件費や補修費等の増加による影響はあったものの、配送収入等の増加により1,951百万円（前年同四半期比10.8%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は28,836百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は623百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は50,184百万円増加し、547,267百万円、純資産は40,522百万円増加し、445,273百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が増加しました。負債は、主に支払手形及び買掛金が増加しました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は79.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の景気・個人消費動向、原材料価格や動力費の推移、為替等の影響が不透明であり、現時点で連結業績予想への影響を合理的に算定することが困難であるため、2023年10月31日に発表した見通しを変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,013	144,034
受取手形、売掛金及び契約資産	59,444	77,237
有価証券	62,000	73,000
商品及び製品	15,533	17,611
仕掛品	423	404
原材料及び貯蔵品	18,449	19,705
その他	5,850	5,282
貸倒引当金	△638	△748
流動資産合計	285,076	336,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,477	71,368
機械装置及び運搬具（純額）	44,141	43,538
土地	35,291	35,519
リース資産（純額）	1,639	1,523
建設仮勘定	4,220	8,100
その他（純額）	1,151	1,155
有形固定資産合計	159,922	161,206
無形固定資産		
その他	2,553	2,483
無形固定資産合計	2,553	2,483
投資その他の資産		
投資有価証券	29,164	33,596
長期預金	18,000	11,000
繰延税金資産	1,292	1,417
退職給付に係る資産	44	36
その他	1,028	998
投資その他の資産合計	49,530	47,048
固定資産合計	212,006	210,739
資産合計	497,083	547,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,320	37,324
短期借入金	377	392
リース債務	294	300
未払費用	25,558	27,967
未払法人税等	3,301	3,921
役員賞与引当金	120	171
資産除去債務	4	9
その他	2,671	3,076
流動負債合計	64,648	73,164
固定負債		
リース債務	3,075	2,954
繰延税金負債	2,447	4,043
役員退職慰労引当金	318	320
退職給付に係る負債	20,245	19,804
資産除去債務	213	196
その他	1,382	1,511
固定負債合計	27,683	28,829
負債合計	92,332	101,994
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,941	22,941
利益剰余金	326,158	353,849
自己株式	△8,236	△8,238
株主資本合計	359,833	387,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,899	11,933
繰延ヘッジ損益	△34	15
為替換算調整勘定	25,305	34,715
退職給付に係る調整累計額	△1,826	△1,627
その他の包括利益累計額合計	32,343	45,036
非支配株主持分	12,573	12,715
純資産合計	404,750	445,273
負債純資産合計	497,083	547,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	325,313	358,399
売上原価	243,299	257,107
売上総利益	82,013	101,291
販売費及び一般管理費	50,127	53,279
営業利益	31,885	48,011
営業外収益		
受取利息	1,181	4,270
受取配当金	547	621
持分法による投資利益	86	93
雑収入	776	1,057
営業外収益合計	2,592	6,043
営業外費用		
支払利息	167	162
為替差損	230	—
貸倒引当金繰入額	13	151
雑損失	109	119
営業外費用合計	521	433
経常利益	33,957	53,621
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	0	132
補助金収入	111	13
その他	13	6
特別利益合計	126	154
特別損失		
固定資産除売却損	189	216
減損損失	3	149
災害による損失	71	—
その他	7	0
特別損失合計	273	366
税金等調整前四半期純利益	33,810	53,409
法人税、住民税及び事業税	7,753	13,477
法人税等調整額	377	△103
法人税等合計	8,130	13,373
四半期純利益	25,680	40,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	312	131
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,368	39,904



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	25,680	40,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	3,092
繰延ヘッジ損益	△129	49
為替換算調整勘定	11,180	9,409
退職給付に係る調整額	260	211
持分法適用会社に対する持分相当額	37	83
その他の包括利益合計	11,655	12,847
四半期包括利益	37,335	52,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,986	52,596
非支配株主に係る四半期包括利益	348	286

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	21,146	—	74,640	39,926	15,214	17,586	168,514	27,212	195,727	—	195,727
米州	7	128,911	—	—	—	—	128,918	—	128,918	—	128,918
その他	473	—	—	—	—	—	473	193	667	—	667
売上高(注) 4	21,627	128,911	74,640	39,926	15,214	17,586	297,907	27,405	325,313	—	325,313
外部顧客への売上高	21,627	128,911	74,640	39,926	15,214	17,586	297,907	27,405	325,313	—	325,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	915	—	49	7	—	768	1,741	20	1,761	△1,761	—
計	22,542	128,911	74,689	39,933	15,214	18,355	299,648	27,426	327,074	△1,761	325,313
セグメント利益	149	18,010	6,549	4,207	414	1,762	31,094	949	32,044	△158	31,885

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△158百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△932百万円、棚卸資産の調整額△113百万円及びその他の調整額887百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	22,769	—	76,270	43,136	14,889	18,354	175,420	28,699	204,120	—	204,120
米州	—	153,936	—	—	—	—	153,936	—	153,936	—	153,936
その他	205	—	—	—	—	—	205	137	342	—	342
売上高(注) 4	22,975	153,936	76,270	43,136	14,889	18,354	329,562	28,836	358,399	—	358,399
外部顧客への売上高	22,975	153,936	76,270	43,136	14,889	18,354	329,562	28,836	358,399	—	358,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	956	—	62	8	0	825	1,853	28	1,882	△1,882	—
計	23,931	153,936	76,333	43,144	14,890	19,180	331,416	28,865	360,282	△1,882	358,399
セグメント利益	232	31,391	7,945	5,599	577	1,951	47,699	623	48,322	△311	48,011

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△311百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,205百万円、棚卸資産の調整額26百万円及びその他の調整額868百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。